

なみえの未来をともにつくります

 なみえ

議会だより

2008.2.1

No. 119



12月定例会

新町長指針を述べる.....	P 2
12月定例議会.....	P 3 ~ 5
一般質問 4人が登壇.....	P 6 ~ 8
追跡どうなった?あの質問.....	P 9
行政視察レポート.....	P10~11

新町長 指針を述べる

馬場町長は行政報告の中で、「未来に活力ある浪江町」のための行政運営に努めていく覚悟を述べました。

町運営の

基本は「経営」

行政は公共の福祉を実現すること、つまり公共サービスを提供する機関であります。要望の多い土・日曜日の執務体制、勤務時間の見直し、児童の健全育成や子育て支援、健康づくりの充実、きめ細かな困りごと相談への対応等、最小の軽費で実現が可能ではないかと考えます。

行財政の改革

現在の行財政運営に無駄がないか、町民の目線で精査し是正する必要があると見ます。国・県の補助事業は大幅に削減されており、提案型の補助金や交付金制度がありますので積極的にアピールし、これらの制度を活用し歳入の確保に努めてまいります。特に重要電源地域、重要防災地域指定を活用した政策の構築とその実現に全力を傾注いたします。加えて雇用と財源の確保のため、自らトップセールスマンとして企業誘致を進めたいと思います。私は、健全財政の確立、財政確保の一助、そして厳しい財政状況を町民と共有

するため、町長給料の50%を削減いたします。

町民参加、町民主体、町民自治が基本

町民と職員が一体となり、協力しながら働くという協働のまちづくりがもつとも必要であると考えます。町政を担う各種審議会や

いります。

政策の基本第一 「活気あふれる地域づくり」

農林水産業の振興、商工業の振興、雇用の確保、企業の誘致等であります。農業では、安心・安全な農産物の生産のための有機栽培



委員会等の委員選任にあたっては、公募制を大幅に拡充し、多様な意見を行政に反映させます。行政のすべきことは迅速に対応したいと思っております。そのため、全町を歩き、地域の実情把握に努めるとともに、分析して対策を講ずるなど真剣に取り組んでま

の推進、農産物を食育に活用する地産地消等を推進します。また、水資源の涵養を図るための林業の振興、内水面を含めた漁業の振興に努力いたします。商工業では、地元商店ならではの顧客満足度の高いサービスを提供し、活性化を図り、賑わいを取り戻すほか、歩

いて暮らせるまちづくりを目指します。なお、従来から懸案であった原子力発電所の早期着工と関連企業の誘致で雇用の拡大を目指します。さらに中山間地域の津島地区であります。地域再生法の認定を受け、活性化対策が図られるよう強力で働きかけてまいります。

政策の基本第二 「安心の子育て」

子どもたちが健やかに育つ環境の整備は喫緊の課題であります。特に、子育て世代の経済的負担の軽減や就労の確保対策は急務であります。きめ細かな乳幼児の健康指導、多様な保育サービスの提供、健康診断等積極的な子育て支援を推進します。

政策の基本第三 「高齢者・障がい者」

介護状態にならないよう、筋肉を強化する貯筋運動の充実が求められております。不幸にして介護状態になった方も、質の高い生活ができる福祉の充実に努める必要があります。介護保険

事業計画等に基づきその対策を推進します。さらに、ノーマライゼーションとリハビリテーションの理念に基づき、障がい者の自立支援を進めてまいります。

政策の基本第四 「文化とスポーツ」

これまで営々と築かれてきた歴史と文化を大切に伝承してまいりたいと存じます。また、スポーツを通じて心地よい汗を流し、若干の疲労感を感じることが健康にも効果的であります。このため、体育施設の整備や既存施設の有効利用、さらにはスポーツクラブづくりを強力に推進し「文化とスポーツ」の振興に努めてまいります。

ここまで、現状認識と行政運営に対する基本的な考え方、並びに基本政策の一端を述べましたが、その実現には町民の皆様方のご支援と議会の皆様方のご理解が不可欠でありますので、ご協力をお願い申し上げます。

12月定例議会



国道 114 号拡幅促進特委により、知事へ要望

- 平成 19 年第 5 回浪江町議会定例会が 12 月 18 日から 26 日までの 9 日間の会期で開催され、一般質問は 4 人が登壇して活発な質疑を交わしました。
- 今議会に提案された議案は、町長等の給与の特例に関する条例の一部改正、平成 19 年度浪江町一般会計補正予算など 14 の議案、議員発議による意見書 3 件、議員発議による議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正が提案され、いずれも原案どおり可決しました。
- 請願・陳情では、請願書 1 件（採択）・陳情書 2 件（採択）を審議しました。

条例改正

○町長等の給与の特例に関する条例の一部改正について

平成 20 年 1 月から 3 月まで町長の給料を 50% 減額するため。（全会一致で可決）

○政治倫理の確立のための浪江町長の資産等の公開に関する条例の一部改正について

郵政民営化法の施行及び証券取引法の改正に伴い、所要の改正を行うものです。（全会一致で可決）

○浪江町個人情報保護条例の一部改正について

日本郵政公社の解散・民営化に伴い、所要の改正を行うものです。（全会一致で可決）

○浪江町児童館使用料徴収条例の一部改正について

平成 19 年 12 月 15 日付けで収入役が退任したことにより、会計管理者への改正を行うものです。（全会一致で可決）

○議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について（議員発議）

平成 20 年 1 月から 2 月まで議長を 50% 減額するため。また同期間の副議長の報酬を 10% 減額するため。（全会一致で可決）

町長の給料
50% カット

平成 20 年
1 月から 3 月まで
の 3 カ月間。

2 カ月の
報酬カット
議長 50%、
副議長 10%

提案理由
諸般の事情により、
議会議長 50%、副議長
10% の 2 カ月の給与の
カットをする。実施時
期は 1 月分から 2 月分
の 2 カ月間とする。

補正予算

○平成19年度浪江町一般会計補正予算 (第3号)

町税1931万円、諸収入2328万円等により4989万円を追加し、総額を7億5985万円としました。歳出の主なものは土木費765万円、教育費1469万円、災害復旧費1202万円等です。

苅野小・大規模改修

(全会一致で可決)

質問

苅野小学校大規模改修設計業務委託について、設計の無駄をなくすための基本的設計委託を一期一回か、何期かに分割して委託するののか。

教育総務課長

平成20・21年度の2年間の改修事業であります。耐震調査の結果、耐震度は問題がないという判定であります。設計は今年度の予算で全てを実施設計の内容として組み

たいということを進めております。

災害復旧の取り組み

質問

災害関連の補正予算が計上されています。土木関係、農林水産関係の災害復旧の内容を説明いただきたい。

産業振興課長

主に津島地区ですが、国庫補助該当災害箇所は4箇所、町単独災害箇所が17箇所。

建設課長

主に津島地区で町単独の災害復旧全部で9箇所。(河川3箇所、道路6箇所)

質問

災害認定にならなかった箇所の今後の対応をどのように考えているののか。

産業振興課長

現在発注している工事は、3月迄全部終わります。さらに危険箇所は順次巡回しながら工事に入るように対応してまいります。

生活路線バスの現状

質問

生活バス運行事業費の補正で152万円(地方路線バス維持対策事業負担金87千円、町営バス運行負担金63万8千円)追加された件について伺います。

住民生活課長

津島二本松線ですが、学生及び一般利用者の減少であります。浪江町、二本松市、川俣町で按分しての負担で浪江町の負担金は総額358万円です。



大いに利用して戴きたい町営バス

町営バス(コスモス)運行負担金の件も利用者の減少です。19年の利用状況は、平均1日52人、1便4.3人でした。負担金は総額で412万円(3分の1は県の補助金)です。

人勧の取扱い

質問

職員給与の件ですが、町民の感覚として景気のどん底にある現在を踏まえ、人事院勧告の全国一律的な考え方でなく、基本となる当町の財政指数の本質を捉えながら判断するものと考えるがお聞かせください。

町長

財政が厳しい状況の中で、町がどういう形で総合的に財政運営をしていくか、人事院勧告は歴史もありますので尊重しながら精査検討をしてみたいです。

質問

福島県人事委員会による給与実施の時期について検討されているのかお尋ねします。

総務課長

今回、議案を提出しないという、見送りと言う事でご理解いただき

たいと思います。県の推移をみながら財政と協議して実施時期を決めたい。

質問

県内の実施状況について伺いたいと思います。そして正常な形で人事院勧告が実施されることを強く求めたいと思います。

総務課長

12月12日時点での上程の見込みがない町村は8市町村です。

質問

療養給付費等の増額により5553万円を追加し、総額を23億2449万円としました。(全会一致で可決)

質問

平成19年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第2号)総額は変わらないが、歳出で総務費を3万円減額し、予備費を3万円増額しました。(全会一致で可決)

質問

平成19年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

繰入金1100万円の増額等により1380万円を減額し、総額を7億8359万円としました。(全会一致で可決)

繰入金1100万円の増額等により1380万円を減額し、総額を7億8359万円としました。(全会一致で可決)

質問

平成19年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)繰入金630万円の増額等により100万円を追加し、総額を4603万円としました。(全会一致で可決)

質問

平成19年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)繰入金859万円を増額し、総額を12億7852万円としました。(全会一致で可決)

質問

平成19年度浪江町水道事業会計補正予算(第1号)収益的支出の営業費用を491万円増額し、総額を3億3145万円としました。(全会一致で可決)

質問

平成19年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

繰入金1100万円の増額等により1380万円を減額し、総額を7億8359万円としました。(全会一致で可決)

皆さんから提出された 請願・陳情

〔採択された請願〕

○米価の安定対策を求
める請願

〔請願者〕

福島県浜通り農民運動
連合会
代表者 杉 和昌

〔採択された陳情〕

○「地域別最低賃金の
引き上げと最低賃金
制度の抜本的改善を
求める意見書」を国
に提出することを求
める陳情

〔陳情者〕

いわき市労働組合総連
合
議長 菅家 新

○「公的保育制度の堅
持・拡充、保育・学
童保育・子育て支援
予算の大幅増額」を
求める意見書提出の
陳情

〔陳情者〕

福島県保育連絡会世話
人代表 大宮 勇雄

議員発議の意見書

○米価の安定対策を求
める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣
農林水産大臣

○「公的保育制度の堅
持・拡充、保育・学
童保育・子育て支援
予算の大幅増額」を
求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣
少子化対策担当大臣

○地域別最低賃金の引
き上げと最低賃金制
度の抜本的改善を求
める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣
厚生労働大臣

動議に関する 議会運営委員会 調査報告

議長、議会運営 委員長の謝罪で 議会混乱の沈静 化

議会運営委員会での調査
の対象となる事務は、地方
自治法第2条に規定された
地方公共団体の事務であ
る。議決された動議は、議
員活動における圧力に対す
る調査も含まれているが、

その判断は困難であり、議
会運営委員会での調査は行
わないとしたものでありま
す。

委員長謝罪

9月定例議会における一
般質問の問題から発生し、
このたびの一連の議会の混
乱を招いたことは、議会運
営委員長として適切な運営

議長謝罪

に欠けていたことを反省
し、謝罪を申し上げます。

9月定例議会において、
議会運営委員会に調査委託
をいたしました。

鈴木辰行議員の退社に関
する調査については、ただ
いま委員長より報告があり
ましたけれども、一連の事

態が生じたことについて
の一端は、私の議事運営
について配慮が欠けたこ
とに起因したものと考え
ております。

ここに、このことによ
り多大なご迷惑をおかけ
いたしました町民皆様
に対して深くお詫びを申し
上げます。

人事

人権擁護委員の推
薦につき意見を求
めることについて

法務大臣委嘱の人権
擁護委員に、全会一致
で適任者として推薦し
ました。

○苅宿 祝子^{トキコ}さん
(加 倉)



○佐々木祐之^{ヒロシ}さん
(屋 曾 根)



一般質問 町政と問

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員3件までの質問、答弁をそれぞれ550字以内に要約しておりますので、ご了承願います。

4議員が質問

■ 橋爪 光雄 議員

- (1) 自然災害対策及び被災者支援について
- (2) 駅周辺環境整備と駐車場について
- (3) 子育て支援について
- (4) いじめ対策について

■ 渡 邊 文 星 議員

- (1) 損害賠償請求住民訴訟事件について
- (2) 新たな住民監査請求について
- (3) 原発立地により交付される電源立地地域対策交付金の配分について
- (4) 次年度（H20年）予算編成について

■ 鈴木 辰 行 議員

- (1) 高齢者暖房費緊急対策助成金の設置について
- (2) ふれあいセンター運動公園のグラウンド照明灯増設について
- (3) 町民に対する職員の対応について
- (4) 企業誘致について

■ 馬 場 績 議員

- (1) 新年度の予算編成方針について
- (2) 異常な燃料高と学校、低所得者への対応について
- (3) 米価暴落と農政問題について
- (4) 医療・福祉と後期高齢者医療制度について
- (5) 子育て支援・妊婦健診について
- (6) 東電の活断層過小評価と双葉断層について
- (7) 中山間地域総合整備事業について
- (8) 教育行政について



橋爪 光雄 議員

**Q 「救急医療体制」は整備されているか
「県救急医療情報システム」を活用し
対応します**

生命と財産を守る 対策を

質問 「自然災害」ハザードマップ作成の進捗状況と避難場所の整備計画は。

住民生活課長 地域住民で構成したワークショップを立ち上げ、4回開催しま

した。今後、ワークショップの意見を参考にして、津波避難計画及び津波ハザードマップを策定します。

駐車場の公正な利用 を図れ

質問 駅前駐車場に長時間駐車している車両が多

く、送迎車両が利用できない。駅前駐車場及び東駐車場をどのような管理をしているのか。

町長 駅東駐車場は利用者等の利用に寄与しています。しかし、公平な利用ができないとの指摘もあり、駅前ロータリーの駅送迎用駐車場と併せ、駐車場

の適正、公正な利用を図るべく指定管理者の導入を含め管理運営方法について検討します。

医療体制の整備と 子育て支援の拡充

質問 奈良県では、妊婦が病院に受け入れを断られ続け死産した。当町の救急医療体制は整備されているのか。

子育て・健康増進課長 県の救急医療体制は、初期救急と第二次救急医療体制

として、病院群の輪番制。第三次医療体制として、救命救急センターがあり、各病院等が連携を図り、救急患者の対応をしています。

質問 妊婦が安全に快適に、バス・タクシー・JRを利用できるように「マタニティマーク」のバッジの配布計画はあるのか。

子育て・健康増進課長 新年度からマタニティチェーンホルダーを配布予定です。



長時間の駐車禁止（駅前ロータリー：駅送迎用駐車場）



渡邊 文星 議員

Q 住民から住民訴訟を起こされたことを不名誉と思うか

A 誠に不名誉で大変遺憾なことと思う

老人保健施設整備に関し区長会が行った回覧による署名活動で、行政側が更なる違法公金支出の疑いで本年1月に福島地裁に住民訴訟が起こされております。

先に、和解した議会に対する不作為違法確認等請求事件の裁判費用は80万5千円であり、その和解内容は裁判で争うことなく原告と真摯に話し合えば解決できたと確信しております。

質問 現在公判中の住民訴訟の公費支出の総額はいくらか。

総務課長 52万5千円です。

質問 住民から起こされた住民訴訟を不名誉と考えないのか。公費を使つてまでする裁判なのか。話し合いで解決する窓口は開いているのか。

町長 町民と行政の関係は、町民参加・町民主体・町民自治が基本です。町民

と行政の職員が一体となり、協働のまちづくりを進めたい。

従つて、町内に住んでいる方からの住民訴訟は、誠に不名誉で大変遺憾なことであると思います。政治判断をしながら、窓口を広げ原告との話し合いも辞さない覚悟で、一刻も町政に支障をきたさないようにしたいと考えております。

浪江・小高原発立地予定で交付されている交付金は

質問 浪江・小高原発立地予定で交付されている電源立地等初期対策交付金相当部分の配分方法と法的根拠は。

企画調整課長 配分は、浪江町と旧小高町の人口按分で。根拠は、それぞれの市・町の意見を聞き県が決定しています。



一日も早く正常化が求められる町行政

質問 配分方法と法的根拠は、現在の支給基準を確約する明文化が必要で、国・県に強く求める考えは。

企画調整課長 明文化による確約を求める方向で要求いたします。



鈴木 辰行 議員

Q 燃料費の高騰で、高齢者世帯の負担は

A 9034円の負担増が予想

質問 急激な原油の値上げで、厳寒期に向かい、燃料費の高騰に町民の不安が募つて来ており、特に所得の少ない高齢者世帯ではなおさらで、何とか対策をしていただきたいと願つております。また政府でも緊急原油高対策が打ち出されてます。町では町民1世帯当たりの暖房費負担が、どのような予想されているのか、また暖房費の緊急対策をどのようにされているのか。社会福祉協議会に、御遺志金の寄付が多く、御遺志金の活用した対策はできないのか。

保険福祉課長 厳冬期間の12月から2月までの灯油価格上昇による家計の負担増は、国の試算では東北地方で1世帯あたり9034円と予想されています。これからの原油の値上げも予想され、高齢者世帯では、これ

より上回ることが予想されています。国からの助成制度については、現段階では何も示されておりませんが、早急に対応を検討します。御遺志金からの対策は、社会福祉協議会と対象者の範囲や支給額等について十分に協議したいと考えております。

職員の窓口サービスの対応は

質問 職員の町民に対する対応が悪いと時々聞かれますが、町ではどのような対策をされているのか、特に高齢者への対応はどうされているのか。

総務課長 接遇研修を引き続き実施をし、職員の資

質向上を図ります。高齢者等については、必要最小限の筆記で申請できるように対応しているところですが、なお個別の対応マニュアルも必要であると考えております。

質問 町長の施策に対する職員の理解と、共通認識をもつためにどのようにされているのか。

町長 全職員を対象に個別面談を実施し、職員への思い、考えを聞きたいと考えております。



高齢者暖房費緊急対策助成金の設置を

第5回 定例会の採決状況

議案番号	件名	議決結果
議案第63号	専決処分承認を求めることについて（福島県市町村総合事務組合規約の変更について）	承認
議案第64号	福島県市町村総合事務組合を組織する団体数の減少について	原案可決
議案第65号	町長等の給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第66号	政治倫理の確立のための浪江町長の資産等の公開に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第67号	浪江町個人情報保護条例の一部改正について	原案可決
議案第68号	浪江町児童館使用料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第69号	平成19年度浪江町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第70号	平成19年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第71号	平成19年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第72号	平成19年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第73号	平成19年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第74号	平成19年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第75号	平成19年度浪江町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
発議第17号	議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決



馬場 績 議員

A Q
小6年までの医療無料と妊婦健診の拡充を
小3年までの無料化、健診回数を増やしたい

質問 署名を集め、県にも拡充を申し入れた。子ども医療無料では、中3年まで入院無料など、県の水準を超えての拡充が県内で18市町村。浪江町でも小6年まで引き上げを。

町長 子育て支援は重要な課題。小3年までの無料化を財政と協議します。

質問 厚生労働省は「妊婦健診は14回程度がの

ぞましい」との通達を出した。公費負担5回以上に拡大すべき。

町長 当町ではこれまでは2回、これを是非増やしていきたい。

取は私の試算では2億〜3億円。農業、中小企業振興を目標とした浪江町産業振興条例の制定を。

②転作誘導の条件整備が不十分である。農家が生き延びける改革はどうあるべきと考えているか。

産業振興課長 ①基本理念や方針を明確にする必要があり、各条例を参考にし、検討します。

津島地区の総合的な地域振興の取り組みは

質問 ①携帯電話接続エリア拡大は。

②働く場所の確保が限りない要求。その取組みは。

企画調整課長 ①赤字木手七郎地区に新年度補助事業の建設要望をしております。

町長 ②農林業の振興とともに企業誘致を図るべきと考えております。

②生産調整に対する抜本拡充が必要と考えます。

乳幼児医療費助成制度

対象年齢を義務教育就学後まで拡大している市町村（H19.10.12現在）

対象年齢	平成19年度 入院	平成19年度 通院
小学1修了まで	矢吹町※(1)	矢吹町※(1)
小学2修了まで	猪苗代町(1)	猪苗代町(1)
小学3修了まで	大熊町※(1)	大熊町※(1)
小学6修了まで	福島市、二本松市、伊達市、本宮市、田村市、国見町、川俣町、飯野町、会津坂下町、楢葉町、双葉町※(2)	福島市、田村市、国見町、川俣町、飯野町、会津坂下町、広野町、楢葉町、双葉町※(9)
中学3修了まで	大玉村、只見町、三島町(3)	大玉村、三島町(2)
	18市町村	14市町村

※は平成18年度に変更なし、ゴシック表記は「入院」のみ対象、()は対象年齢ごとの実施市町村数

浪江町も対象年齢の引き上げを

追跡 どうなった？あの質問

一般質問は議員に与えられている重要な権限の一つです。今回「一般質問のその後」として、一般質問の提言などが町政にどのように反映されているのかお知らせします。

質問

県立浪江高校津島分校の存続は

検討委員会が

設置された

生徒の定員の二分の一以下が3年以上続くと学校の存続そのものが問われる状況にあった津島分校は平成18年度において条件が満たされたので、その後3年間は存続が認められました。

町は検討委員会を設置し、県教育委員会にも報告しながら指導を仰いでいます。

存続のためには特色ある学校作りをめざし、生徒が将来に希望がもてる科目の設置により募集の増加が求められています。

付随する問題点は何か

通学バスとして利用している町営バスは浪江地区からの通学生が減少したため収益の面で検討すべきことがあるとされています。津島地区からの進学も他学区へ変わる傾向にあります。

福島県の状況と展望は

このような中、福島県は平成15年3月に「中高一貫教育実施計画」を公表しました。

中高一貫教育とは3つの種類があります

① 中等教育学校

● 1つの学校で6年間教育を行う。

② 併設型の中学校・高等学校

● 高等学校入学者選抜なしで同一設置者による中学校、高等学校を接続する。

③ 連携型の中学校、高等学校

● 町立の中学校と県立の高等学校が教員、生徒間の交流等の連携を深める形で実施します。この時入学者選抜は学力検査等によらない簡便な方法で行います。

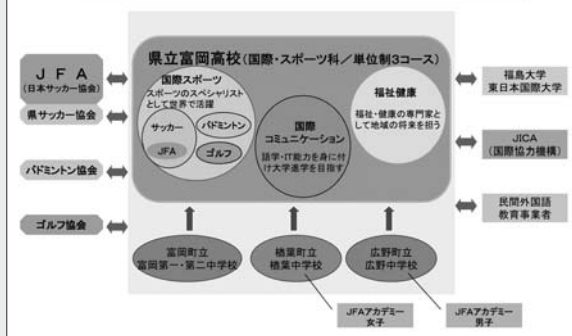
この際の選定には一つの形態に固執することなく県全体のバランスを見て柔軟に対応します。

双葉地区の教育構想基本方針とは

「真の国際人として社会をリードする人材の育成」

事例として富岡高校における教育構想ランドデザインは次のようになります。

双葉地区教育構想ランドデザイン



浪江に合った特色ある学校作りとは

津島診療所を基点とした福祉、健康の専門家をめざす等特色ある学校作りが望まれます。

行政視察 レポート

5つの委員会は、町の当面する課題について視察研修を行いました。

平成 19 年	
7月30日～8月1日	産業・建設常任委員会
8月1～3日	総務常任委員会
8月7～9日	文教・厚生常任委員会
10月17～19日	議会運営委員会
11月20～21日	国道114号拡幅促進特別委員会

産業建設

大分県 日田市

地産地消「ムカデ農業」の取り組み

大山町は、山あいの狭い耕地で土地利用型（水田）に依存できないため、「ムカデ農業」「足」にさまざまな作物（19作物）と主力となる梅と栗を描き、生産と加工販売・技術の向上に取り組んできました。



梅の木は現在4万本。北部九州一の大産地となる。梅はすべて手摘み。「梅蔵博物館」の地下で熟成される梅干には、自然海塩が使用されている。現在、年収1000万円を超える農家も珍しくありません。津島地区が似通った環境の地域であり、同様の地産地消に取り組んでいきます。

文教厚生

福岡県 志免町

子どもの権利条例

志免町の平成18年12月定例議会にて『志免町子どもの権利条例』が可決され平成19年度から施行されました。権利条例は、子どもを成長過程にある人として認め、支え、さらに、子どもを見る視線や子どもの理解のしかた、興味を持って関わる姿をイメージして作られました。



浪江町においても、子どもの権利保障に向けて、取り組まれています。今後、この問題について調査・研究を重ねていく必要があります。積極的に取り組んでまいります。

総務

富山県 魚津市

環境対策の取り組みに学ぶ

万年雪を抱く毛勝山（2414m）よりの雪解け水とその周囲から流れ落ちる水が市街地を流れており、その水質環境維持のため、下水道整備の重要性や地域住民・企業がボランティアで取り組んでいる河川清掃等、市民一体となった地道な活動の重要性を痛感させられました。



また、家庭から出る資源物ごみは、いつでも資源物を排出できる利便と周辺地区の資源物ステーションを統廃合し、常設資源物ステーションを市内5箇所に集約し、年始年末等を除き常時開設し、ごみと環境に対する市民意識の高揚を図っており、浪江町も住民と協働による環境対策の取り組みを検討すべきと考えます。

国道114号拡幅促進

都北多摩南部
建設事務所

「府中都市計画道路、府中所沢線整備事業」の概要



府中都市計画道路拡幅については周辺道路の渋滞を緩和することと環境施設帯

を設けた、快適で環境にやさしい道づくりに努めている。延長910mの区間には、副道設置区間(220m)、沿道一体整備区間(300m)、切り通し区間(390m)と、高齢者にも安心して利用出来るバリアフリー化を行い、自転車、歩行者と十分に空間を確保した道路整備事業となっている。我が町もこの様な道路に完成する様、努力を進めて行きたいと思えます。

議会運営

千葉県四街道市議会
千葉県東庄町議会

情報公開制度の運営状況

四街道市議会においては、予算決算の審査を全議員による特別委員会を設置し、付託の上、審査を行っている。情報公開については、平成8年に議会情報公開条例を制定。その後、議会側が市情報公開条例に加わる形で平成9年に市条例が改正され、議会を一実施機関と位置付けし、公開請求・開示は市情報公開室において行われている。

東庄町議会においては、予算決算の審査については、上程後に総括質疑を行った後、各常任委員会に付託している。今後本町議会の運営に取り入れるべきものを検討したい。



議会活動の近況

11月

8日	議会運営委員会 双葉地方町村議会議員研修会(富岡町)
12日	議会報編集特別委員会 町村議会議員研修会(郡山市)
13日	議会運営委員会 全員協議会
20~21日	国道114号拡幅促進特別委員会視察 研修(東京都)
26日	広域圏組合定例議会
28日	議会運営委員会

12月

11日	議会運営委員会 全員協議会
18~26日	第5回定例議会

1月

16日	議会報編集特別委員会
17日	国道114号拡幅促進特別委員会陳情
23日	議会報編集特別委員会

お詫びと訂正

「11月1日発行の118号議会だより」で、次の間違いがありましたのでお詫びして訂正させていただきます。

○14頁・特集シリーズ

まちは地方財政健全化法とどう取り組むか

指標の説明

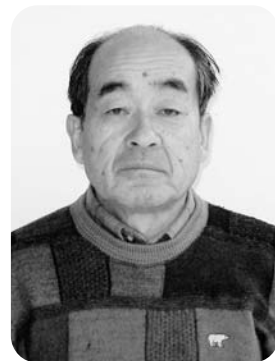
- ・実質赤字比率【当町…4.3%・県平均(H17)…4.5%】
普通会計にかかる赤字の比率(実質収支比率)3~5%程度を
- ・実質赤字比率
普通会計にかかる実質赤字の標準財政規模に対する比率。
に訂正ください。

傍聴人インタビュー



12月議会傍聴人：延べ人数 37人
気軽に傍聴してください。

未来に誇れる 町づくりをめざして



岸 眞さん
(加 倉)

1 傍聴のきっかけは？

新町長が誕生し、初議会であったので。

2 傍聴された感想はどうでしたか？

議会の進行にはルールがあるはず。ルールにのった議会運営を望みます。また、新町長の所信表明は具体的でよかった。

3 議員に対する要望がありますか？

議員は責務を自覚し、力を合わせて一丸となって、活気に満ちた浪江町の構築のため活動してほしい。また、各議員は活動状況

4 議会や町政に対する要望がありますか？

町民からの意見や要望など真摯に受けとめ、特に若者が将来に夢と希望をもてる町づくりを推進してほしい。

5 厳しい財政の中ではあるが、子供から老人までやすらげる憩いの場の設置を考えてほしい。

議員定数削減の検討時期ではないでしょうか。

編集後記



昨年12月16日に馬場新町長が誕生しました。

就任2日目で臨まれた12月定例議会で、町長選で掲げたマニフェスト、「町長報酬50%削減」を全会一致で可決しました。

哲学者・梅原猛は『今の日本人に欠けているものは孤独に徹して断固としてわが道を行く気迫である』と述べています。

新町長の町政への気迫が痛いほど伝わってきました。

『議会と行政は車の両輪』政策実現に向け「さあー出航」
今後の舵取りに期待したい……。
(記・渡邊文星)

議長	山本幸男
委員長	小黒敬三
副委員長	泉田重章
委員	佐藤一男
委員	横山精一
委員	渡邊文星
委員	紺野榮重

119号
表紙より

平成20年
浪江町消防団
出初式

表紙用写真を募集

町の話題・人物・季節感のあるもの。
ぜひ、お寄せください。

みなさまの声をお聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構ですでお声をお寄せ下さい。